アウクスブルク滞在記

榎本　菜々実

はじめに

私は尼崎市青年使節団として、8 月 29 日から 9 月 7 日の約 1 週間、姉妹都市であるドイツのアウクスブルクを訪問しました。今回の滞在記はそこで経験したこと、印象に残ったことを記したいと思います。

8 月 30 日　1 日目

まず、ドイツに着いてプレラーという移動式遊園地を訪れました。移動式とは思えないほどアトラクションが本格的で、空中ブランコと急流滑りに乗りました。どちらも日本では味わえないようなスリルを味わえて大満足でした。昼食はサラミやハム、プレッツェルにチーズといった私が想像していたドイツの食べ物がたくさん出てきました。サラミやプレッツェルは実は前菜で、その後に大量のマッシュポテトとチキンが出てきて驚きました。料理はどれも美味しかったです。

次に、アウクスブルク消防団を訪問しました。日本とは違う消防車はとても新鮮でした。私たちが見学をしているときに、出動要請が来て実際に出動する様子も見られて良い経験になりました。

その後ホストファミリーと合流しました。ホストファミリーの家に着いて、まず自慢の庭でケーキとジュースをいただきました。とても甘くて美味しかったです。そして、自転車に乗って近くの湖や川を訪れました。どれも信じられないほど綺麗で感動しました。夜ご飯はホストファミリーとピザを作って食べました。

8 月 31 日　2 日目

この日はディーゼル記念石庭園、尼崎/長浜大通り、アウクスブルク植物園、フッゲライ、アウクスブルク市内散策、グランドホテル・コスモポリスを訪れたとても忙しい日でした。ディーゼル記念石庭園は朝に訪れたので、朝日でとても美しく静かで心安まる場所でした。尼崎/長浜大通りでは遠く離れたドイツの地に自分が生まれ育った街の名前を見られるとは思わなかったので嬉しかったです。アウクスブルク植物園では日本庭園を見ました。日本庭園は日本にあるものより要素が多く見応えがありました。

次にフッゲライという黄色の家が特徴的な世界最古の現役の社会福祉住宅を訪れました。お昼はそこでマウルタッシェンを食べました。私はドイツで食べた郷土料理の中で一番美味しかったです。味も食感も揚げ餃子に似ていました。アウクスブルク市内散策では市庁舎の黄金の間に入りました。言葉を失うほど荘厳で美しく、部屋に入った時の衝撃が凄まじかったです。市内は石畳の道で、日本と違って家に統一感があって室外機がないので街並みはとても美しかったです。グランドホテル・コスモポリスは難民の住居やアーティストのアトリ

エなどが一緒になった画期的なホテルで、中は独特な雰囲気がありました。



アウクスブルク消防団



フッゲライ

9月1日　3日目

この日は表敬訪問をしました。綺麗な建物で芳名帳にサインを書きました。普段お目にかかれない方々がたくさんいらしてとても緊張しました。その後市場を散策しました。試食した食べ物はどれも美味しく、食べ物だけでなくお花や雑貨も売っていたので、かわいい食器を買いました。

公共図書館は本を貸し出すだけでなく、バドミントンやゲーム機などの貸し出しや、音楽室の利用もできて羨ましかったです。

伝統衣装は時間の関係で男女1人ずつしか着られなかったことが残念でしたが、手軽に着られる衣装を合わせるだけでもとても可愛かったです。

人形劇場のプッペンキステでは初めて操り人形を見ました。最初は少し怖い印象を受けましたが、慣れると細かい作りになっていて感動しました。動かすのはとても難しかったです。

夜は市民の方々と料理交流をしました。みんなでシュペッツレを作りました。苦手な料理をさらに英語ですることは大変でしたが、この経験でだいぶ耳が慣れた気がしました。

9月2日　4日目

この日は憧れのノイシュヴァンシュタイン城を訪れました。まず、ノイシュヴァンシュタイン城が綺麗に見える吊り橋に行きました。そこから見るノイシュヴァンシュタイン城はポストカードを見ているくらい綺麗で、カメラだとその美しさを全て切り取れないほど美しかったです。事前にこのお城はルートヴィヒ2世の理想を詰め込んだお城なので住むのには向いていないと聞いていました。実際にお城の中に入ると、装飾があらゆる場所に施されており、住むのに適しているかはわかりませんでしたが、落ち着かないだろうなとは思いました。お城から見えた街並みは自分の目で実際に見ているとは思えないほど綺麗でした。湖や山々、街の建物全てが絵画のようでした。お城から麓までは馬車で下りまし

た。人生で初めて馬車に乗って楽しかったです。

ホストファミリーの家に帰ってホストシスターとラーメンを作りました。ラーメンが好きと事前に聞いていたので、日本から醤油ラーメンの袋麺を持って行き、2人でトッピングも作りました。久しぶりに日本食が食べられて嬉しかったです。





9月3日　5日目

この日はダッハウ強制収容所を訪れました。私は日本でも広島や長崎を訪れたことがなかったので、初めて現地で戦争学習をしました。強制収容所自体は想像と違って、木々があって広大な土地で小綺麗な印象を受けました。施設内の写真は頭が追いつかないほどグロテスクな写真もあり衝撃を受けました。ガス室は一度も使用されたことがないと言われましたが、中に入った時空気の重さを感じました。衝撃的な展示が多く見るのも大変でしたが、戦争の恐ろしさを身をもって感じるいい経験だったと思います。

その後ミュンヘンを訪れました。ミュンヘンは伝統的な建物の中にハイブランドが集まり、豪華な雰囲気の場所でした。夜はレジデンツ礼拝堂でコンサートを鑑賞しました。豪華な建物の中でフルートとハープの演奏を聴き、非日常で貴重な体験でした。

9月4日　6日目

この日は世界遺産に登録されている給水塔を見学しました。私にとって給水塔のしくみはとても複雑で説明を聞いてもよくわかりませんでしたが、大変古くから水を町中に届けていたことは素晴らしいことだと思いました。

お昼はセント・エリザベス職業訓練センターで訓練生の方々に給仕してもらいました。私と同世代の方々が仕事に就くためにここで勉強していることは良い刺激になりました。

その後、アウクスブルクを自由に散策する時間があり、たくさんお土産を買いました。そこでアイスクリームやチーズを食べました。

この日の夜は送別会がありました。事前に用意していた出し物がうまくいって安心しました。ホストファミリーからも褒めてもらって嬉しかったです。帰る日が近づいていることを実感して寂しくなりました。帰りにホストファミリーと夜のアウクスブルクを散歩して、プレラーに花火を見に行きました。

9月5日　7日目

この日は一日中ホストファミリーと過ごす日でした。朝はホストブラザーと２人でパン屋に行き、朝ごはんを買いました。プレッツェルや甘いパンなどたくさん買いました。週末の朝ごはんは豪華になるそうで、白いソーセージのヴァイスヴルストやバームクーヘンも出てきました。

そしてお昼に進撃の巨人の聖地であるネルトリンゲンに行きました。ネルトリンゲンは真ん中にあるダニエルの塔に登ると街を一望することができ、進撃の巨人そのままの景色を見ることができました。ダニエルの塔は約350段あり、休憩を挟みながらゆっくり登りました。階段はとても急で大変でしたが、塔の上から見る景色は進撃の巨人の漫画そのままで感動しました。ネルトリンゲンの周りにある城壁も歩きました。ネルトリンゲンの街には多くの豚の置物があり、ホストファザーが豚の伝説を教えてくれました。アイスとプレッツェルを食べて、ハールブルク城に行きました。このお城はホストシスターがプリンセスだったら住みたい城らしく、とても綺麗でした。マイケル・ジャクソンも購入を検討したことがある城だそうです。オレンジの屋根が特徴的で、庭も豪華でした。

夜ご飯にホストブラザーおすすめのケバブを食べた後、子供達だけで夜カフェに行きました。アウクスブルクの若者が多くいて、昼間に見る市内とは全く違う雰囲気があり面白かったです。

9月6日　8日目

ホストファミリーとお別れをする日でした。前日から別れたくなくて憂鬱で、実際団員と待ち合わせをする場所に行くと涙が止まりませんでした。綺麗な部屋と美味しい料理を用意してくれただけでなく、毎日たくさんおしゃべりをしたり、卓球をしたりしたので１週間という短い期間でしたがとても楽しい時間を過ごせました。またドイツに行きたいと思いました。



ネルトリンゲン



ハールブルク城

終わりに

８日間という短い期間でしたが、アウクスブルクを訪問して新しい発見や深い学び、そして楽しいことがたくさんありました。このような貴重な機会をいただきありがとうございます。これからも尼崎市とアウクスブルク市の友好な関係が続くことを願っています。